令和２年度事業計画書

令和　2年　4月　1日から令和　3年　3月　31日まで

　　　　　　　　　　　　　　　　　法人名： NPO法人　ちぽりーの

**１ 事業実施の方針**

設立5年目である本年度は、昨年の実践の積み上げと働く環境の更なる整備を行いたいと考えている。そのためには、働く環境の整備を行う、また、就業規程の見直しを行いそれぞれの立場での労働条件の周知、有休をとりやすくすることで、余暇時間や子育てにゆとりある生活を行ってほしいと考えている。また資格取得に向けての支援等行い、専門職としての知識を取得するための研修への参加についても昨年度より増やしていきたい。体制を充実することで、加算を取得し、法人の体力、実践力をつけていきたい。

また今年の4月３０日をもって短期入所を閉所する。安定した勤務体制を保障し、日中活動を保障するためである。

児童発達支援

児童発達については、基本的に親子療育を行い、単独での受け入れも行う。保護者と子どもの成長を確認しあう場であり続けることはもちろんであるが、昨年に引き続き0歳時期の発達の重要性を何らかの方法で発信できるよう行政や保健所等に働きかけたいと考えている。0歳時期の脳の可塑性は、田中昌人先生らによって実証されているが、現代の子育て環境においては発達を保障する困難さは大きい。

児童発達支援を行うことは、子どもの発達を支援することはもちろん、保護者支援の大きさを痛感している。研修を行うことで個々に応じた支援や提案が出来るよう実践を重ねたい。

放課後等デイサービス

放課後等デイサービスについては、個々に応じたスケジュールを提供することで、見通しを持って動くことができるよう支援を行う。そのためには他所と連携を諮り統一した支援を行っていきたい。また、身体を自分の思うように使えない子どもが増えている。ネット社会の弊害は確実に子どもに及んでいるが、正しく使うことで出来ることを増やし、自信をつけることも行ってきたい。昨年度末よりコロナウイルス感染症の影響で、日常生活が大きく変わり不安を抱えている保護者・子どもたちであるが、子どもの成長を報告し、共感することでストレスの緩和の一役を担えればいいと感じた。

その子なりの全面発達を保証するためにはミーティングの質、互いの意見交換を活発にしたい。

　地域参加

地域参加については、昨年度の参加状況に加えステップアップできればと考えている。また今回のコロナウイルス感染症の件では3密を避ける対策として地域の公民館の使用を依頼した。このことで、放課後等デイサービスのことを知っていただく機会になった。活動を通して、地域の皆さんにさらに身近に感じていただく施設になれるよう努力を行いたい。

２　事業の実施に関する事項

(1)　特定非営利活動に係る事業

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 定款の事業名 | 事　業　内　容 | 実施予定日時 | 実施予定場所 | 従事者の予定人数 | 受益対象者の範囲及び予定人数 | 支出見込額(千円) |
| 1. 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業
 | 職員体制の整備を行い、療育内容を充実させる。児童発達支援では子育てに悩む保護者のよりどころとなることを目指す。 | 4月1日～3月31日 | 法人施設　　　　　　　　荒尾市野原字西原八六番地　　　　 | スタッフ4名パート7名 | 荒尾市とその近郊の47名 | 28,390千円 |
| ②日中一時支援事業 | 放課後等デイサービスの支給日数の調整の為の受け入れを行う。　　　　保護者迎え時までの預かりを行う。 | 4月1日～3月31日 | 人施設　　　　　　　　荒尾市野原字西原八六番地 | スタッフ4名パート7名の内日々は１名 | 荒尾市とその近郊の47名 | 467千円 |